

南栗原、東原・さがみ野地区活動報告書

活動の名称	第7回南中学校地域 防災・避難訓練
実施年月日	平成30年6月24日
実施場所	南中学校校庭・体育館
対象者	南栗原地区（18自治会会員）東原・さがみ野地区（7自治会会員）
参加人数	320人（協力者：防犯指導員、交通指導員、地域民生委員、市危機管理課・水道局、市消防署、消防第3分団第3部、南中学校）
地域防災・減災活動の概要	<p>午前7：30緊急通報訓練、8：30各自治会一時避難場所集合、 8：45避難所へ移動開始、9：00避難所開設（避難受付～各種体験）、 11：06閉会（片付け清掃後解散11：34）</p> <p>【研修・体験内容】——2ブロックに分かれ（体育館と校庭）行動</p> <ol style="list-style-type: none"> ① [避難所開設と避難受付訓練] ② [負傷者応急処置訓練]・・・消防署員による心肺蘇生、消防団による応急担架組立訓練 ③ [安全講話の説明・伝達]・・・防災推進員より手作り資料を各人に配布し、「生き残らなければ何も始まらない」をテーマに防災の基本は自助、そのためには、事前の備えとして「住まい・食・医」の各自助ポイントを説明 ④ [防災備蓄品の展示と説明]・・・危機管理課より説明 ⑤ [消火訓練と地下貯水槽確認]・・・消防団員の指導による水消火器の消火訓練と地下貯水槽確認及び汲み出し訓練 ⑥ [野外応急炊出し訓練]・・・先発隊による5自治会館でのアルファ米：250食（50×5箱）の炊出し・運搬と、雨天の中現地屋外でのかまどによる焚き付け・湯沸し後、アルファ米：100食（50×2箱）とハイゼックス炊飯米5キロ（約30食）による水、コーラ、お茶、オレンジジュースを用いての各炊飯後、試食体験（訓練終了時に参加者全員に配布） ⑦ [補給水支給訓練]・・・参加者全員に熱中症防止の補給水（ペットボトル500cc）の支給及び子どもたちへの菓子支給
反省と今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・時々雨天の天候不良のため関係者（避難所運営委員会）と協議、計画変更（屋外訓練を縮小し屋内での訓練）したので不安もあったが、ほぼ計画通り推進できた（煙体験は事前の都合により中止）。 ・組織委員の役割分担を明確になるよう腕章を作成、着用することにより委員の意識向上が図られた。 ・雨のため一般避難者を体育館に入れてしまったので、先発隊との区別が一時的に混乱してしまった。 ・時間的な制約があり負傷者応急処置訓練が25分位しか取れず短いと感じた。次回、何を重点に訓練するか明確にして訓練項目と時間配分を見直す必要がある

訓練風景

